

平成 28 年熊本地震災害におけるボランティアの募集の変更について

(公社) 福岡県鍼灸マッサージ師会

会長 要 信義

熊本地震のボランティア募集は県内・県外の NPO 団体を始めとして、各業界において既に実施され、鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師向けの募集も日本鍼灸師会・全日本鍼灸マッサージ師会・全日本鍼灸学会、鍼灸 net 等、それぞれの団体を通じて募集して参りました。

5 月 8 日時点で、74 名の先生方が登録され、既に現地に入って支援活動をされた先生や登録しこれから活動する先生方もおられると思います。

さて、震災発生から半月が経過し徐々に復興されつつありますが、いまだ避難所生活を強いられている方々も多いのが現実です。発生時から今日まで被災県でかつ被災者にもかかわらず、(一社) 熊本県鍼灸マッサージ師会会員、九州看護福祉大学の教員と卒業生の先生方が中心となり、熊本市内の各避難所を巡回し献身的な災害支援活動を続けて参りました。

しかし時間の経過と共に各地で構成された災害対策本部のコーディネーター機能が解体し、各区役所に委譲され DMAT も解散されました。それに伴い鍼灸師による市内巡回の役割もなくなり、広域的な支援活動が終了しました。今後は活動拠点を縮小し、曜日・時間帯を固定して、熊本市中央総合体育館避難所のみでの活動に限定されることになりました。

それにより、全国からの鍼灸師・マッサージ師ボランティアの受け入れ拠点、熊本市以外の避難所の支援活動の管理を、(公社) 福岡県鍼灸マッサージ師会が引き継ぐことになりました。募集要項が若干変更されますが、それぞれの団体からの申込フォームより、引き続きボランティアの募集を行います。今後長期的な支援活動が予想されます。皆様の暖かい支援をお願いするとともに、少しでも早い復興がなされるようにお力をお貸し下さい。

記

支援場所：宇城市、西原村、その他

募集方法：既存の募集フォームを使用する。

募集は月単位で行い募集期間は前月の 1～15 日までとする。

(例：7 月募集の場合 6 月 1～15 日までで締めきりとします。)

※派遣先はご要望に添えないこともあります。ご了承下さい。

支援方法：週に 1 回程度。構成は最大 6 名。1 避難所 2～3 名一組。

現地集合現地解散が基本

注意事項

1. 施術は鍼・マッサージのみ 厳守 (刺絡、灸、徒手矯正術は禁止)
2. 自己完結が出来る方のみ (熊本市内での宿泊確保は困難な状況です。)
3. 直接現地に入る方は鍼、手指消毒・指サック・タオルなど衛生備品持参
4. 現地コーディネーターの指示に従うこと。

5. 現地では被災者の方々、コーディネーターの方々に失礼のないようにふるまうこと。
6. 施術時間は一人20分程度とする。その他は下記注意事項に従う。

熊本地震災害ボランティア募集のご案内

(公社)日本鍼灸師会では、熊本地震災害における、鍼・灸施術のボランティアを募集させていただくこととなりました。ご参加いただける方は、下記留意事項をご確認のうえ、下記のWEB申し込みフォームよりお申し込みください。

→ <http://goo.gl/forms/PuRwXRH2a9>

WEB申し込みが困難な場合は、次ページの申込書に必要事項を記載して、日本鍼灸師会事務局へFAXまたはメールにてお申し込みください。

活動場所は、現状では熊本市内及び近隣市町村を予定しています。

留意事項

1. 災害救援ボランティア活動は、ボランティアご本人の自発的な意思と責任により被災地での活動に参加・行動する自己完結型が基本となります。被災地までの交通費、水・食料・宿泊場所・その他身の回りのものについても、ご自身で事前に用意・手配してください。
2. まずは、自分自身で被災地の情報を収集し、現地に行くか、行かないかを判断してください。家族や職場のご理解も大切です。
3. 被災地での活動は、危険がともなうことや重労働となる場合があります。安全や健康についてボランティアが自分自身で管理することであることを理解したうえで参加してください。体調が悪ければ、参加を中止することが肝心です。
4. 被災地に到着した後は、必ず現場の鍼灸師会 災害対策本部又は施術拠点を訪れ、ボランティア活動の登録を行い、現地受け入れ機関の指示、指導に従って活動してください。
5. 被災地では、被災した方々の気持ちやプライバシーに十分配慮し、マナーある行動と言葉づかいでボランティア活動に参加してください。
6. 自分にできる範囲の活動を行ってください。休憩を心がけましょう。無理な活動は、思わぬ事故につながり、かえって被災地の人々の負担となってしまいます。
7. 備えとして、賠償責任保険及びボランティア活動保険(※)への加入は必須です。
※最寄りの社会福祉協議会にお問い合わせください。
8. 鍼灸・マッサージ養成学校の学生さんは、診療補助(受付等)として受付いたしますが、所属学校を通してお申し込みください。

※メールの場合は、件名を「熊本地震災害ボランティア申し込み」として、info@harikyu.or.jp まで、申込書を添付してご送付下さい。

その他、お問い合わせは、危機管理対策委員会 堀口正剛まで

メール； gaia7889@gmail.com 携帯；090-8377-6343

熊本地震災害 ボランティア活動申込書

平成 年 月 日

日本鍼灸師会 会長 殿

下記のとおり、ボランティア活動をしたいので申し込みます。

なお、許可された上は、現場責任者の指示に従います。

記

| | |
|---|--|
| お名前・年齢 | フリガナ _____ 才 |
| 所属 (該当する数字を、○で囲んでください。日鍼会会員は所属都道府県師会をご記入ください。) | 1. 日鍼会； _____ 鍼灸師会 2. 全鍼師会 3. 全日学 4. 東洋療法学校協会 5. その他 (_____) |
| 保有免許 | 1. 鍼師 2. 灸師 3. その他 _____ |
| ご住所 | 〒 _____ |
| ご連絡先 | 電話： _____ 携帯 _____ |
| | E-Mail： _____ |
| 緊急連絡先 | お名前（ご本人との関係） _____ |
| | 電話： _____ |
| ボランティア活動経験や 災害医療研修経験の有・無 (有りの場合、簡潔にご記入下さい) | 有 (内容・期間等) 無 |
| ボランティア保険加入の有無 | 有・無 |
| 活動しやすい曜日や時間帯が ございましたら記入して下さい。(複数可) | 月 日 (曜日) 時 ~ 時 月 日 (曜日) 時 ~ 時 その他； _____ |

※ ご記入頂いた個人情報についてはボランティア活動においての目的でのみ使用します。

※ 必要事項ご記入後、事務局（03-3985-6622）までFAX、又はメール；
info@harikyu.or.jpにてお申し込み下さい。

受付 No _____

施術上の注意事項

ミーティング確認事項

1. 「被災地対応」
 - ・被災地では、被災者の方・コーディネート頂く方等日々大変な環境のなかで過ごされています。失礼のないよう、行動言動を心がけましょう。
2. 「患者への対応」
 - ・患者への施術は医療事故に注意し、適応症かどうかを確認してから行う。
3. 「問診時の対応」
 - ・問診の段階で、施術内容のインフォームドコンセントをしっかりと行う。
4. 「急性疾患の対応」
 - ・急性疾患の疑いのあるものは、現地避難施設リーダーに報告、医療機関と連絡をとってもらい、対応を考える。
5. 「救急患者への対応」
 - ・患者の様態が救急を擁する場合は、心マッサージが可能なものが心マッサージを施すと同時に、他のものは直ちにAEDの準備と救急車を要請する。要請後は、現地避難施設リーダーに連絡する。
6. 「施術の内容」
 - ・施術の内容は鍼かマッサージの希望を確認し行う。
7. 「用語と言葉使い」
 - ・「治療」は「施術」という。
 - ・具体的な疾患名は極力避け、疑いがあることを伝える。(診断しない)
8. 「施術」
 - ・問診、施術を含め20分とする。
 - ・鍼は浅く、置鍼、単刺のみとする。(違和感を残さないため)
 - ・鍼は1人4～5本程度とする。(ドーゼ過剰、刺し残しに注意)
 - ・鍼を刺したままのマッサージは行わない。
 - ・施術に、肘・膝・足は使用しない。
 - ・カイロ、整体、運動法については行わない。
 - ・座位での刺鍼はしない。(脳貧血予防)
 - ・治そうとしないで心地よいドーゼを心がける。
9. 「患者への配慮」
 - ・臀部等の露出はできるだけ少なくすると共にバスタオルで覆い隠す。
10. 「感染予防」
 - ・消毒は、流水で手洗い後消毒綿などで消毒する。
 - ・指サックは両母指、示指に必ず装着する。
 - ・綿花、指サック、ディスポ鍼などの医療廃棄物は、廃鍼入れに入れた後、「医療廃棄物入れ」を持ち帰る。
11. 「ごみの処分」
 - ・現地で出たごみはすべて持ち帰る。
12. 「施術は注意深く」
 - ・被災者の方は、疲労困憊して訪れる場合があるので、わずかな刺激で気分が悪くなったり、つったりすることがあるのでドーゼには十分注意をして施術を行う。
13. 「準備品」
 - ・鍼・指サック・廃鍼入れ・消毒綿花・タオル(3枚～4枚)・ごみ入れ
 - ・カルテ・ボールペン・画板等